

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	広島県立中央森林公園(フォレストヒルズガーデン地区)		
所在地	三原市本郷町上北方 1361		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び福祉に資する。		
施設・設備	多目的ホール棟、セミナーハウス、コテージ、テニスコート等		
指定管理者	3期目	H26.4.1~H31.3.31	広島空港ビルディング・広島エアポートホテル共同企業体
	2期目	H21.4.1~H26.3.31	広島エアポートビルディング開発・広島エアポートホテル共同企業体 ⇒広島空港ビルディング・広島エアポートホテル共同企業体 (平成22年9月1日~)
	1期目	H18.4.1~H21.3.31	広島エアポートビルディング開発・広島エアポートホテル共同企業体

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
		3期	29~30	36,200人	—	—
28			36,200人	39,260人	483人	3,060人(108.5%)
27			36,200人	38,777人	△93人	2,577人(107.1%)
26			36,200人	38,870人	2,157人	2,670人(107.4%)
2期平均 21~25			39,300人	36,713人	△9,343人	△2,587人(93.4%)
1期平均 18~20			—	46,056人	△2,668人	—
17(導入前)			—	48,724人	—	—
増減理由	利用者の要望に応えたプランを継続的に実施したことにより、前年度よりも入場者数は微増した。また、前年度に引き続き入場者の目標値も達成することができた。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	コテージ利用者(21人)
	【主な意見】	【その対応状況】
	バリアフリーの部屋について、入り口のスロープに段差があった	入口に板を置くことで応急的に段差を解消した
	風呂の浴槽がざらざらしていた	清掃後の確認を念入りに行った

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務実績報告書
	日報(必要随時)	— 緊急連絡を要する事例の発生なし
管理運営会議(随時)	【特記事項等】 <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者連絡会議 監査に伴う備品等検査 	
現地調査(12月に実施)	【指定管理者の意見】 <ul style="list-style-type: none"> 施設等の改修、修繕の要望 【県の対応】 <ul style="list-style-type: none"> 施設等の改修工事計画の説明 管理業務の履行状況を確認(→適正) 	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減	
	3期	28	47,829	0		3期	28	100,907	7,545	
県委託料 (決算額)	3期	27	47,829	0	料金収入 (決算額)	3期	27	93,362	6,364	
		26	47,829	1,329			26	86,998	14,184	
		2期平均 21~25		46,500				11,398	2期平均 21~25	
	1期平均 18~20		35,102	△11,525		1期平均 18~20		74,744	△6,167	
	17 (導入前)		46,627	—		17 (導入前)		80,911	—	

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	47,829	47,829	0	
		料金収入	100,907	93,362	7,545	利用料金制(※1) コテージ・会議室の利用件数の増加
		その他収入	282,396	245,500	36,896	飲食等の収入の増加
		計(A)	431,132	386,691	44,441	
	支出	人件費	145,009	136,772	8,237	常勤職員の増
		光熱水費	23,598	25,695	△2,097	ガス使用量の減
		設備等保守点検費	2,377	2,859	△482	機械設備更新に伴う保守点検費の減
		清掃・警備費等	26,095	28,104	△2,009	施設清掃の一部直営化による減
		施設維持修繕費	1,979	1,668	311	施設の修繕箇所を増
		事務局費	32,857	37,772	△4,915	広告宣伝費の減
		その他	195,371	150,327	45,044	飲食等の増に伴う、仕入の増
	計(B)	427,286	383,197	44,089		
		収支①(A-B)	3,846	3,494	352	
	自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—	
支出(D)		—	—	—		
収支②(C-D)		—	—	—		
合計収支(①+②)		3,846	3,494	352		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の 効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	自然環境に囲まれた, 県民の休養の場として施設を適切に管理運営した。	施設の目的に合致するように適切に運営している。
	○業務の実施による, 県民サービスの向上	利用者が施設を快適に利用できるようにパソコン機材や調理器具の貸し出しを行った。	施設の利用者に対するサービスの向上に継続的に務めている。
	○業務の実施による, 施設の利用促進	周辺施設と連携した宿泊プラン(ゴルフパック)を継続して実施しつつ, コテージの利用促進のための新たな宿泊プラン(グランピングプラン)を提案した。	周辺施設との連携を図ることにより, 施設の認知度の向上や利用促進に努めている。
	○施設の維持管理	施設・設備の保守点検を適切に実施した。修繕が必要な箇所については, 県と連携して対応した。	施設・設備の修繕に関して, 安全面や施設運営に支障をきたすものを最優先に対応している。
管理の 人的物的 基礎	○組織体制の見直し	実施計画に基づきホテルと一体となった職員配置を行った。	ホテルと一体となった職員の配置を行っており, 業務の効率化に努めている。
	○効率的な業務運営	ホテルと一体的に施設管理業務を行うことで, 業務実施の効率化・経費の削減を図った。	効率的な業務実施と経費の削減に努めている。
	○収支の適正	施設の利用増により, 料金収入が増加し, 収支は前年度以上の黒字となった。	前年度以上の収入を上げており, 収支の適正化を図っている。
総括		前年度から継続している宿泊プランや新たなプランの実施により, 入場者数が前年度を上回り, 目標値も達成した。収支結果も前年度以上の黒字を出しており, 引き続き利用者サービスの向上に努める。	宿泊プランや新たなプランの企画・実施により, 施設全体の目標を達成することができた。また, 施設利用者の増により, 前年度以上の収入を上げ, 収支の適正化を図った。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成 29 年度)	○ 利用者に好評な企画を引き続き実施する。 ○ 更なる利用促進に繋がる新たな企画を県に提案する。	○ 施設の利用促進につながるように, 企画提案や広報等の支援・協力を行う。
中期的な対応	○ 老朽化した施設の修繕・改修を県に要望する。	○ 指定管理者と適宜協議を行い, 優先度の高い箇所から計画的に対応する。